

FD 関連研修会 参加報告書

主 催	甲子園大学
企画名称・テーマ	「eポートフォリオと協同学習を活用した大学教育・学生支援」
開催日時<会場>	2012年2月11日(土) <宝塚ソリオホール>
参加者所属	歴史学部 歴史学科

参加報告

1. 研修会の目的

甲子園大学における文部科学省大学教育・学習支援推進事業「キャンパス・キャリア・ファイルによる段階的就職支援の構築」の総括報告。

2. 研修の概要

甲子園大学の当該事業の実践報告、および当該事業推進のために参考にした3大学事例報告。

3. 本学のFD活動における検討課題

甲子園大学の取り組みは、初年次教育とキャリア形成支援が一体となった「教養演習1」から年次を追って段階的に社会人基礎力を形成しようとする試みである。そこで活用される「キャンパス・キャリア・ファイル」が、学びやキャリア形成の振り返りのツールとなるよう工夫されている。本学のキャリア形成支援との関連でいえば、「ステップアップ講座」が注目される。これは授業の空き時間を活用したキャリアアップ授業で、本学のキャリア支援部が展開しようとしている事業と類似しているが、甲子園大学のものはシステムとして確立しているように感じた。

甲子園大学では「キャンパス・キャリア・ファイル」を電子化したものをeポートフォリオとして活用し始めており、またF-レックス(福井県内の高等教育機関の連携機構)でも学習・就職支援のツールとしてeポートフォリオを利用している。電子化するためには、利用者のコンピュータの習熟度やアクセス権限の問題等、導入前にしっかりと見取り図を描いておかなければならないと感じた。

今回の各大学の事例報告は、全体として大学内(あるいは大学間)に様々なコミュニティーを形成し、それを通じて社会人基礎力の形成をはかるとともに、学生の「居場所」確保の仕掛けをいかに作るかという点が重視されていたように感じた。そのためには、学部学科や学年(あるいは学校)を超えた学生同士のつながりや、学生と教職員、さらに地域や保護者とも連携した仕掛けが必要とされる。それを実現するには、まずは教職員一体となった明確な目標設定が必要であろう。